

Create!Form V10 アップデートマニュアル

FormMagicfolder
FormRemoteObject

2013年3月

インフォテック・アーキテクト株式会社

目次

1. はじめに.....	3
2. 互換性の概要.....	4
3. アップデートの手順.....	5
4. FormMagicfolder のアップデート.....	6
5. FormRemoteObject のアップデート.....	8
6. おわりに.....	10

1. はじめに

Create!Formは、帳票および定型ドキュメントの出力を担うソフトウェアパッケージ製品として開発され、多様な業務システムに組み込み利用されています。一度システムに組み込まれ業務運用を始めれば何年も稼働しますが、経年の途中でソフトウェア環境を新しいものに入れ替える事態も発生します。こういった場合、出来るだけ同じ仕様の製品が提供されていることが望まれます。これが製品における互換性の課題となります。

Create!Formは従来のものと互換性のある最新の製品をご提供できるように製品開発に取り組んでいます。ハードウェアとOS環境の変化に合わせていく事、または利用技術の変化や市場のニーズに追従させる事などの目的で改良を行います。この改良を行う時には、従来の仕様の上に互換性を保って改良を行うことを基準にしています。

しかしながら、将来的に変更を行うことが望ましい場合、従来の仕様を変更する場合があります。こういった場合でも、可能な限り従来の機能を利用できる手法をご提供するよう努力しています。このような事情について、ご理解をいただけるようお願い申し上げます。

本アップデートマニュアルでは、以下の製品のアップデート手順について記述しています。

- **Create! FormMagicfolder**
- **Create! FormRemoteObject**

2. 互換性の概要

アップデートにおいて基本的には互換性がありますが、一部の仕様が変更された影響により、そのままでは実行時にエラーが発生したり、出力結果に差異を生じる場合があります。ここでは、アップデートによって互換性に影響する仕様の変更点について説明します。

2-1. FormMagicfolder

フィルタ機能のパラメータ（～V8）

FormMagicfolder V8 以前からアップデートする場合、フィルタ機能で 사용할 ことができるパラメータは以下のパラメータに置き換わります。

<code>%in</code>	→	<code>\${in}</code>
<code>%out</code>	→	<code>\${out}</code>
<code>%mfd</code>	→	mfd ファイルのフルパスに展開されます
<code>%dopt</code>	→	<code>\${cf. opt. D}</code>
<code>%sopt</code>	→	<code>\${cf. opt. s}</code>

アップデート後に mfd ファイルのフルパスではなく、監視フォルダ設定ファイルのフルパスを参照する必要がある場合は、展開された「mfd ファイルのフルパス」を「`${mf. home}/sites/${mf. directory. id}`」に置き換えてください。

2-2. FormRemoteObject

アップデートによって互換性に影響する仕様の変更点はありません。

3. アップデートの手順

アップデートは、以下の手順に従って行います。

1. 稼働中のサービスの停止
2. アップデートする製品のインストール
3. 各種設定ファイルの移行
4. ストレージの移行 (FormRemoteObject)
5. サービスの開始

詳細なアップデート手順については製品ごとに説明しています。

FormMagicfolder 製品をアップデートする場合は「4. FormMagicfolder のアップデート」、
FormRemoteObject 製品をアップデートする場合は「5. FormRemoteObject のアップデート」
をご覧ください。

4. FormMagicfolder のアップデート

FormMagicfolder 製品のアップデート手順を以下に説明します。

4-1. 稼働中のサービスの停止

アップデートを行う際は稼働中のサービスを停止しておく必要があります。Windows の [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を起動し、旧バージョンの FormMagicfolder サービスを停止します。(例: FormMagicfolder V9 製品をお使いの場合、サービス名は「Create! FormMagicfolder V9」です)

4-2. アップデートする製品のインストール

アップデートする FormMagicfolder 製品をインストールします。インストールは製品に付属の「インストール・エラーコード一覧・制限事項」マニュアルの手順に従って行ってください。なお、旧バージョンの製品がインストールされた環境と同一の環境へインストールする場合、旧バージョンの製品がインストールされたディレクトリとは異なるディレクトリへインストールするようにしてください。同一のディレクトリへインストールした場合、正しく動作しません。

4-3. 各種設定ファイルの移行

監視フォルダ設定ファイル

旧バージョンで使用していた監視フォルダ設定ファイルを V10 の FormMagicfolder 製品で利用できるように移行します。以下の手順に従って移行してください。

1. V10 の FormMagicfolder 製品付属の「FormMagicfolder 設定」ツールを Windows の [スタート] メニューより起動します。
2. FormMagicfolder 設定画面が表示されますので、メニュー [設定]-[設定のインポート] を選択します。
3. [参照] ボタンを選択し、旧バージョンの監視フォルダ設定ファイルが配置されているディレクトリを指定します。Create! FormMagicfolder V8 以前をお使いの場合は導入ディレクトリ直下の「mfd」ディレクトリ、Create! FormMagicfolder V9 をお使いの場合は導入ディレクトリ直下の「sites」ディレクトリを指定してください。
4. [インポート] ボタンを選択し、監視フォルダ設定ファイルを移行します。
5. 正しく移行が完了すると、[成功] メッセージが表示されます。[失敗] メッセージが表示される場合は、指定している監視フォルダ設定ファイルが正しくないか破損している可能性があります。旧バージョンの「FormMagicfolder 設定」ツールで監視フォルダ設定ファイルが正しく開けるか確認してください。

4-4. サービスの開始

Windows の [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を起動し、アップデート後の FormMagicfolder サービスを開始します。

以上で FormMagicfolder 製品のアップデートは完了です。

旧バージョンとアップデート後のバージョンの製品を同時に動作させる場合、同一の監視フォルダを監視しないようにご注意ください。同一の監視フォルダを監視した場合、正しく動作しません。

5. FormRemoteObject のアップデート

FormRemoteObject 製品のアップデート手順を以下に説明します。

5-1. 稼働中のサービスの停止

Windows

アップデートを行う際は稼働中のサービスを停止しておく必要があります。Windows の [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を起動し、旧バージョンの FormRemoteObject サービスを停止します。(例: FormRemoteObject V9 製品をお使いの場合、サービス名は「Create!FormRemoteObject V9」です)

Linux

アップデートを行う際は稼働中のサービスを停止しておく必要があります。導入ディレクトリ直下の「bin」ディレクトリへ移動後、次のコマンドを実行してサービスを停止します。

```
$ cfro stop
```

5-2. アップデートする製品のインストール

アップデートする FormRemoteObject 製品をインストールします。インストールは製品に付属の「インストール・エラーコード一覧・制限事項」マニュアルの手順に従って行ってください。なお、旧バージョンの製品がインストールされた環境と同一の環境へインストールする場合、旧バージョンの製品がインストールされたディレクトリとは異なるディレクトリへインストールするようにしてください。同一のディレクトリへインストールした場合、正しく動作しません。

5-3. 各種設定ファイルの移行

プリセットコンテキストファイル

プリセットコンテキストファイルとは、作業ディレクトリ、ジョブファイル、印刷部数などの実行オプションが記述されたジョブ生成用のファイルです。このプリセットコンテキストファイルは、サーバの導入ディレクトリ直下の「context」ディレクトリに配置しておくことで、クライアント API からジョブを生成する際に、プリセットコンテキスト名を指定するだけで実行オプションを適用することができます。

旧バージョンで使用していたプリセットコンテキストファイルを V10 の FormRemoteObject 製品で利用できるように移行します。以下の手順に従って移行してください。(プリセットコンテキストファイルをご利用でない場合はプリセットコンテキストファイルの移行は必要ありません)

1. V9 の FormRemoteObject の導入ディレクトリ直下にある「context」ディレクトリをコピーします。
2. V10 の FormRemoteObject の導入ディレクトリ直下にある「context」ディレクトリを「context_bak」にリネームします。

3. V10 の FormRemoteObject の導入ディレクトリ直下へコピーした「context」ディレクトリを貼り付けます。

5-4. ストレージの移行

V9 の FormRemoteObject 製品や FormMagicfolder 製品で蓄積したジョブをアップデート後の FormRemoteObject 製品で再実行する場合は、ストレージの移行が必要になります。(FormRemoteObject 製品をご利用でない場合や、蓄積したジョブをアップデート後に再実行しない場合はストレージの移行は必要ありません)

ストレージの移行は、製品に付属の「FormRemoteObject」マニュアルの「10. ストレージの移行」の手順に従って行ってください。

5-5. サービスの開始

Windows

Windows の [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を起動し、アップデート後の FormRemoteObject サービスを開始します。

Linux

導入ディレクトリ直下の「bin」ディレクトリへ移動後、次のコマンドを実行してサービスを開始します。

```
$ cfro start
```

以上で FormRemoteObject 製品のアップデートは完了です。

旧バージョンとアップデート後のバージョンの製品を同時に動作させる場合、同一のポート番号を使用しないようにご注意ください。同一のポート番号を使用した場合、正しく動作しません。

6. おわりに

本アップデートマニュアルは、新たに互換性に関する記載事項が発見された場合は、追加更新が行われます。最新のアップデートマニュアルは、弊社サポートページよりダウンロードできます。また、アップデート作業に関して、ご質問がある場合、弊社サポート係までご連絡ください。

■サポートサイト

URL: <http://support.createform.net/>

■サポートお問い合わせ

E-Mail: support-c@iftc.co.jp

Create!Form

アップデートマニュアル

発行日 2013年3月25日 [第1版]

発行者 インフォテック・アーキテクト株式会社